

こんげつ 今月の隕石薄片

なまえ
名前

Y-74079

しゅるい
種類

H5 コンドライト

み
見つけた場所

さんみやく
やまと山脈

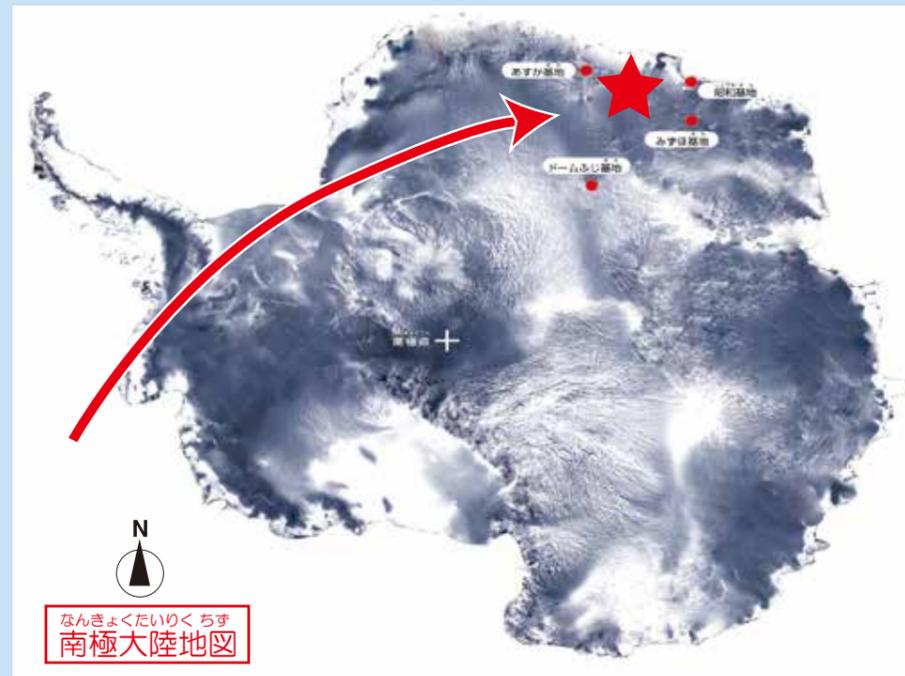
ふく
含まれている主な鉱物

かんらん石、斜方輝石、
不透明鉱物

とくちょう
特徴

じたい さいしゅ
第15次隊が採取。

おくねんまえ こけつ
46億年前に固結したコンドライトです。



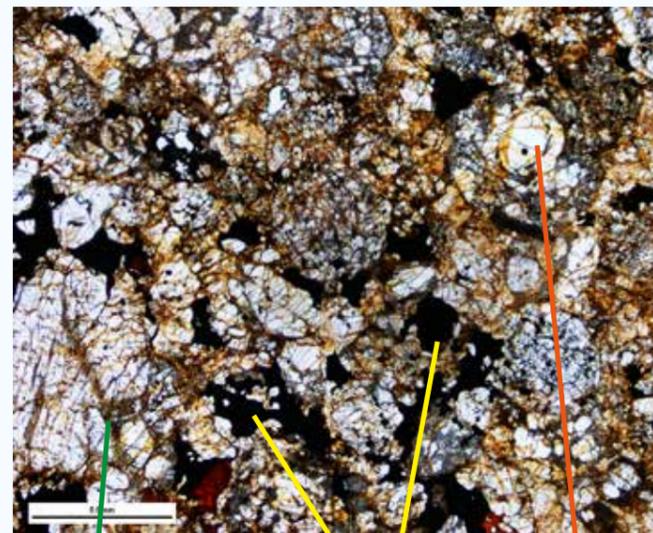
「偏光顕微鏡」で見た、薄片の様子です。
偏光顕微鏡では、1枚または2枚の偏光板を通した薄片で、鉱物の種類や結晶の特徴を観察します。

偏光板はサングラス等にも利用されており、様々な方向に進む光の中から、一定方向に進む光だけを通すフィルターの役目をします。

岩石や隕石は、すり減らして薄くすると、光が通るようになります。これをガラスに貼ったものを「薄片」といいます。岩石も隕石も、いろんな種類の鉱物の粒からできていますが、種類によって光の通り方がちがいます。偏光顕微鏡で見ると、一枚の薄片から、鉱物の種類や結晶の構造など、たくさんを知ることができるのです。

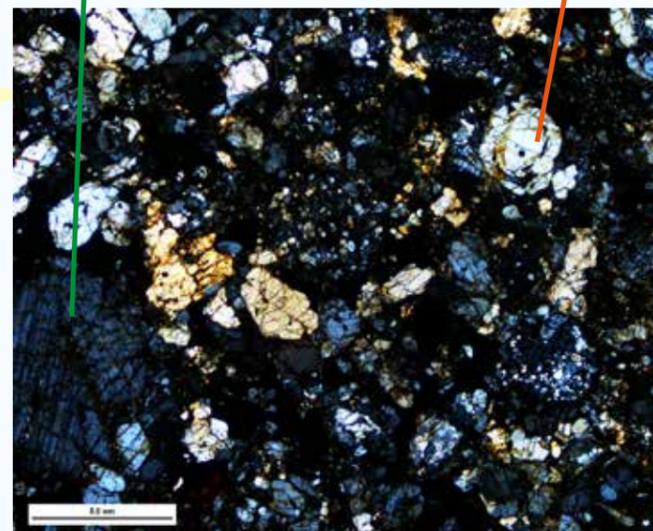


かんさつ
観察のポイント



偏光板が1枚のとき

色が
変わります



偏光板が2枚のとき